今週（4月10日から4月14日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、前週に引き続き資金調達ニーズの強い展開となった。

無担保コールO/N物は、邦銀業態を中心に▲0.008～▲0.002%近辺での調達が多く見られた。加重平均レートは、10日から13日までは▲0.007～▲0.006%と非常に高い水準かつ狭いレンジで推移した。実質的な積み最終日となった14日は、調達量を制限する先も散見されたが、レートへの影響は限られ、概ね横這い圏での推移となった。

ターム物に関しては、ショートターム物を中心に、▲0.02～0%程度での出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、財政等要因に加え各種金融調節により、13日までは540兆円台前半での推移となったが、14日には年金定時払いにより、550兆円程度まで増加する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.15～▲0.08%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、2Y440～446回、5Y150～157回、10Y355～370回、20Y175～183回、30Y65～77回、40Y10～15回などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は閑散なマーケットとなり、全ゾーン横這い圏での推移となった。

14日に実施された3M物の入札は、テールが流れる結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

短国買入オペは、11日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、全取利回較差、平均利回較差ともに+0.024%となり、軟調な結果となった。

●CP市場

今週は、化学・陸運・鉄鋼・電気機器等、複数の業態で大型発行が行われ、週間の金額ベースでは発行超となった。

市場残高は、期明け後の発行再開により徐々に増加する展開となる中、足下では22兆円台後半まで回復してきている。

発行レートについては、日銀の適格担保銘柄は概ね0%前後で決着している。

CP等買入オペは、10日に4,000億円でオファーされ、按分レート+0.002%、平均レート+0.011%と、前回比(按分+0.002%、平均+0.018%)で按分は横這い、平均は低下となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/10 (月)	27,633.66	0.460	132.60	△ 0.006	△ 0.149	5,429,900
4/11 (火)	27,923.37	0.450	133.42	△ 0.007	△ 0.120	5,443,500
4/12 (水)	28,082.70	0.460	133.75	△ 0.006	△ 0.098	5,416,100
4/13 (木)	28,156.97	0.455	133.22	△ 0.006	△ 0.093	5,414,000
4/14 (金)	28,493.47	0.455	132.47	△ 0.007	△ 0.105	5,489,700

来週（4月17日から4月21日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
4/17 (月)	2月の石油等消費動向統計(経済産業省 13:30)		
4/18 (火)		流動性供給 5,000億円 4/19発行	3月の米住宅着工件数
4/19 (水)		TB1Y 35,000億円 4/20発行	米ページブック 3月のユーロ圏消費者物価指数改定値 3月の英消費者物価指数
4/20 (木)	3月の貿易統計(財務省 8:50)	20Y 交付税借入 12,000億円 13,000億円 4/21発行 5/2借入	3月の米中古住宅販売
4/21 (金)	3月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 63,000億円 4/24発行	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/17 (月)	400	7,300	7,700	国債買入 国債補完 CP買入 社債買入		17,400	60,200	67,900	TB3M発行▲63,000 償還60,000 個人向け3Y・5Y・10Y▲発行3,500償還1,500
4/18 (火)	▲1,000	▲1,000	▲2,000				0	▲2,000	
4/19 (水)	▲1,000	▲5,000	▲6,000	全店共通	▲8,300		▲8,300	▲14,300	流動性供給▲5,000
4/20 (木)	▲2,000	5,000	3,000				0	3,000	TB1Y発行▲35,000 償還29,000 エネルギー対策借入▲8,500期日8,000
4/21 (金)	▲2,000	▲12,000	▲14,000	社債買入		1,000	1,000	▲13,000	20Y発行▲12,000
週間合計	▲5,600	▲5,700	▲11,300	—	34,500	18,400	52,900	41,600	

4/17は日銀予想、4/18以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み期間が切り替わるものの、引き続き調達ニーズの強い展開が想定され、レートは高めに推移する事が予想される。債券レポのGCレートは、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、引き続き今週と横這い圏での推移が見込まれる。短国市場は、19日に1Y物、21日に3M物の入札実施が予定されている。また、18日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、20日、25日の発行集中日が予定されており、市場の動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、20日に3月の貿易統計、21日に3月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、19日に3月のユーロ圏消費者物価指数改定値、3月の英消費者物価指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入